

授業科目

基本介護II

担当教員名 吉田 輝美	対象学年	1	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	○

授業の概要

「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解するとともに、「介護を必要とする人」を、生活の観点から捉えるための学習。また、介護における安全やチームケア等について理解するための学習とすることが「基本介護」全科目の目的である。「基本介護II」では、「介護を必要とする人」の理解をするため、歴史、文化、政治、生活面から考える内容とする。

授業の目的

- 1、歴史がどのように個人史に影響を与えたのかを学び、人間理解に結びつけることができるようになる。
- 2、生涯発達の考え方が高齢者の生活に具体化されて状況を考えることができるようになる。
- 3、現在の社会状況が、高齢者や障害者にどのような影響を与えているのかを説明することができるようになる。

学習目標

- 1、戦前に生まれた人の個人史を調査し、その生活歴に対して歴史が及ぼした影響について考える。
- 2、生涯発達の理論学び、高齢者の生活の生きがいや就労について考える。
- 3、人間の多様性、複雑性について知り、その人らしさの背景を理解できる。
- 4、現在の社会状況を分析して、高齢者や障害のある人の生活の状況を推測する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	高齢者の生活と発達課題	講義	吉田 輝美
2	その人らしさの理解：生活感や価値観が育つ背景	講義・演習	吉田 輝美
3	高齢期を生きる人を理解する	演習	吉田 輝美
4	高齢者の暮らし1：すまいと日常生活	講義	吉田 輝美
5	高齢者の暮らし2：健康 世帯構成、家族関係、経済状況	講義	吉田 輝美
6	高齢者の暮らし3：日常生活に対する意識 社会参加活動、就労等	講義	吉田 輝美
7	高齢者の暮らし4：高齢社会と世帯構造・家族	講義	吉田 輝美
8	高齢者の暮らし5：経済状況 障害のある人の暮らし2：すまいの状況、同居者、教育	講義	吉田 輝美
9	高齢者の暮らし6：就労 障害のある人の暮らし3：就労と収入	講義	吉田 輝美
10	障害のある人の暮らし1：全体像と生活二重障をもつて生きる	講義	吉田 輝美
11	障害のある人の暮らし2：就労と経済状況	講義	吉田 輝美
12	障害のある人の暮らし3：障害をもつて生きる	講義・演習	吉田 輝美
13	介護を必要とする人の暮らし1：在宅生活と家族関係	講義	吉田 輝美
14	介護を必要とする人の暮らし2：医療施設・福祉施設における生活	講義	吉田 輝美

15	介護を必要とする人のくらし3：介護施策とサービスの現状と課題	講義	吉田 輝 美
----	--------------------------------	----	-----------

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	介護の基本	西村洋子	メヂカルフレンド社	2016年		
参考書						
その他の資料						

評価方法

筆記試験・レポート・授業態度等より評価する

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

授業時に確認すること